
『頭のいい子の親がやっている「見守る」子育て』は、考え方とやり方を知って、取り入れられるところからご自身の子育てに取り入れていただければ、どなたでも成果を実感していただける子育て術です。

この「見守る子育て診断ブック」は、書籍の内容をさらに深く理解し、子育てにより効果的に取り入れていただく助けとなります。

時間を見つけて、少しずつ取り組んでみてください。

著者 小川大介

[診断 Step1]

お子さんの日頃の様子をありありと思い描くように、今そこにいるような感覚で思い出してください。

(1) お子さんの口ぐせは何ですか？書き出しましょう。

(2) 大好きなことをしている時、遊んでいるときは、どんなしぐさをしますか？どんな姿勢ですか？書き出しましょう。

(3) 大好きな遊びは何ですか？ なぜその遊びが好きなのだと思いますか？

「遊び」

「なぜ？」

(4) 次の質問について、お子さんに特によく当てはまると思うもの全てに印をつけてください。

Q1. どんな遊びが好きですか？	✓
① お絵かき	
② しり取りなど言葉遊び	
③ 外遊び	
④ 絵本を読む	
⑤ 歌を歌う	
⑥ リズムに乗ってダンスする	
Q2. ほめられた時はどんな風に喜びますか？	
⑦ こちらの顔をじーっと見てニコリする	
⑧ 「もう一度言って」とほめ言葉を聞きたがる	
⑨ 飛びはねて喜ぶ	
Q3. お出かけした時のことを思い出す時	
⑩ 「～があったよね」「いたよね」と見たものを思い出す	
⑪ 「ママが～って言ったんだよね」と話したことを思い出す	
⑫ 自分がしたことを思い出す	
Q4. 特徴としてあてはまるものはどれですか？	
⑬ せっかちで早とちりしやすい	
⑭ 人の話をよく聞いている	
⑮ じっとしているのが苦手	
⑯ 人のことをよく見ている	
⑰ ものを覚えるのが得意。正確に覚えられる。	
⑱ 勘が鋭い	
⑲ 人の表情が気になる	
⑳ 人の言葉が気になる	
㉑ 初めての場所でもすぐに慣れる	

前ページの表で✓がついた番号はどれでしたか？次の A 群～C 群それぞれの個数を数えましょう。

A 群	B 群	C 群
①,④,⑦,⑩,⑬,⑯,⑲	②,⑤,⑧,⑪,⑭,⑰,⑳	③,⑥,⑨,⑫,⑮,⑱,㉑
個	個	個

[解説]

さて、A 群、B 群、C 群のどの個数が多かったでしょうか？

この診断からは、お子さんの「天才」を発掘するヒントが分かります。

(本書 p.80～参照)

●A 群が多かった ⇒視覚情報に反応しやすいお子さんです

(こんな特徴がありませんか？)

- ・話を聞かない
- ・話が飛ぶ
- ・テンポが速い
- ・結論を急ぐ

(合わせるコツ)

- ・速いテンポで話す
- ・図やグラフを使う
- ・見せて話す
- ・きれいな場所で話す
- ・結論を先に言う
- ・全体像を先に伝える

(教える時のコツ)

- ・「図」や「表」を用いて情報整理の工夫を行いながら指導する。
- ・本人に絵や図を描かせてみて理解度確認をする。
- ・全体像を感覚的に把握した気になりやすいので、細部を言葉で確認したり文に書かせたりしてみる。

●B 群が多かった ⇒聴覚情報に反応しやすいお子さんです

(こんな特徴がありませんか？)

- ・話が長い
- ・理屈が多い
- ・矛盾を指摘する

(合わせるコツ)

- ・論理的に説明する
- ・データや数字を使う
- ・静かな場所で話す
- ・言葉をていねいに、正確に使う
- ・本人の言葉を繰り返して言う

(教える時のコツ)

- ・一つ一つの言葉をはっきりと、内容ごとに区切って伝えるようにする。
- ・音読を促す。読み聞かせを積極的に行う。
- ・関心が細部に偏って全体像を見失いがちなので、図や目次を使って全体と細部を関係付ける。

●C群が多かった ⇒体感できることへの反応が鋭いお子さんです

(こんな特徴がありませんか?)

- ・直感的すぎる
- ・感情に浸る
- ・テンポが遅い
- ・何かとくっついてくる

(合わせるコツ)

- ・感情をこめた表現を使う
- ・体験させてあげる
- ・ゆっくりしたテンポで話す
- ・開放的な場所、安心感のある場所で話す

(教える時のコツ)

- ・暗記させる時には、身振り手振りを交えて実演させたり、大きく口を開けて復唱させる。
- ・散歩しながらや、立ったままで話しかける。
- ・複数の情報をまとめて伝えてしまうことを避け、腑に落ちた様子を確認してから次を伝える。
- ・感覚でものごとをとらえがちなので、「数字」「用語」「回数」などは再チェックを行う。

診断 Step1 は、「見守る子育て」でもっとも大切な要素である、「わが子を知る」ということに取り組みました。
どんな発見があったでしょうか？自身の子育てについてどんなことに気づけたでしょうか？メモを書き出しておきましょう。

[Memo]

[診断 Step2]

本書 p.155 「わが子の素敵どころ 50」を拡大コピーして、取り組みます。

(1) まず、**5分間**で書けるだけ書き出しましょう。

いくつ書けましたか？

(2) さらに書き出していきます。

どこまで書けましたか？

[解説]

「わが子の素敵どころ 50」は、親の心の持ち方トレーニングです。

私たち親はだれしも、子育てをしているうちに、いつの間にか「世間体」や「他人からの評価」を気にするようになっていきます。

「素敵どころ」という投げかけに対して、「人から褒められること」「自慢できること」という理解にすり替わってしまうのです。

(1) の、5分間で書き出せた内容は、おそらく、「書道で初段を取れた」「算数が得意」「足が速い」など、他の人と比べて優れている項目が多いことでしょう。もちろん、そうした人に勝る面をたくさん持っているということ自体はとても素晴らしいことです。

しかし、「見守る子育て」の効果を実感するには、世間が褒めてくれるかどうかは関係なく、親である自分には素敵だと思える、私はこの子のここが好きなんだ、というところを数限りなく見つけていく、素直に喜べる心を持つことが大切になってきます。

親が、わが子の天才を見つける目と心を育てていくことで、わが子は親の予想を超えた力を発揮してくれるものです。

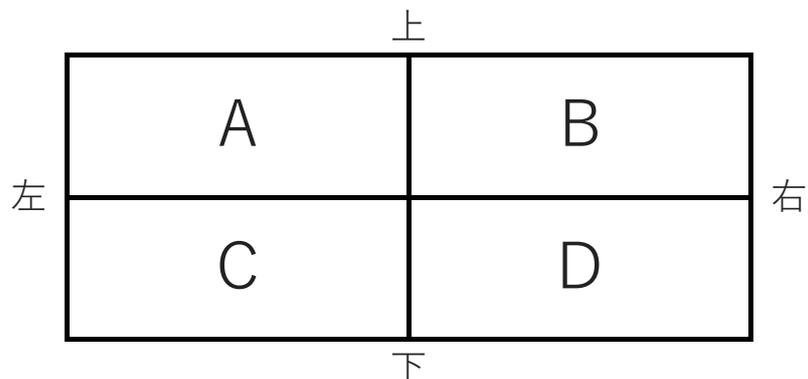
[診断 Step3]

親である自分がどちらかというとき当てはまると思われる方に○をつけて、各列の個数を数えてください。

	横軸の質問		縦軸の質問	
1	自信がありそうに見える	自信がなさそうに見える	即反応する	自制する
2	主導権をとる	人に従う	だらしない	きちんとしている
3	言いたいことを言う	言うのをためらう	人間関係を大切にする	仕事の成果を大切にする
4	社交的	非社交的	温かい	冷たい
5	でしゃばり	ひっこみがち	非形式的	形式的
6	行動的	思考的	自由を重んじる	規律を重んじる
7	強引	遠慮がち	にぎやか	おとなしい
8	外向的	内向的	感情を表す	感情をかくす
9	情報を公表する	情報をしまっておく	衝動的	分析型
10	積極的	消極的	人に近づく	人と距離をおく
11	支配的	非支配的	(上) 個	(下) 個
12	反発する	受け入れる		
13	自分の意見を言う	人の意見を聞く		
14	断定的	協調的		
15	直接的	間接的		
16	おしゃべり	無口		
	(左) 個	(右) 個		

左右・上下それぞれ多い方のマスを選ぶと、A～Dのどこになりますか？

[例] (左) 10個 (右) 6個, (上) 4個 (下) 6個 ⇒ (左) で (下) だから「C」



次のタイプ説明に目を通した上で、後の質問に答えていきましょう。

【タイプ説明】

A = 促進型（プロモーター） B = 支持型（サポーター）
C = 支配型（コントローラー） D = 分析型（アナライザー）

促進型（プロモーター）

面白く、活気のある事柄に、人々と一緒に熱中することを好みます。
細かいことはあまり気にせず、しばしば早呑込みをして物事を一般化します。
一緒にいると刺激になる人です。
楽しいことが好きで、行動派です。エネルギーで衝動的なところがあります。
集団の中では、人に気に入られようとする傾向があります。
自分が尊敬する人とは、個人的に付き合おうとします。
想像力を発揮し、刺激に反応し、仕事を手早く片付けることを好みます。

支持型（サポーター）

自分の得にならないことでも、人を助けたがります。
そのさりげない雰囲気のおかげで、他の人はその人と一緒にいると、心がやすまります。
競争心をあまり持たず、他の人に主導権をわたす傾向にあります。
他の人の気持ちを思いやり、押しつけがましくなく、寛大です。
集団の中では、協調性とやる気に満ちた人という評価を受けやすいです。
期待に沿った行動を行いますが、失敗しないことの保証をほしがる面もあります。
人を傷つけないために、嫌な話は自分でとどめておきます（あるいは遠まわしに伝えます）。
目標の設定や計画に対する関心を欠いているため、やるべきことの中身がはっきり決まった環境で活動することを好みます。

支配型（コントローラー）

物事を自分の思い通りに進めることを楽しみとしています。
行動的で、独立心が強く、野心に富んだ自信家に思えます。
たいてい主導権を握り、自分から進んで決定をくだします。
意思の堅い、力強い行動が、他人には事務的で冷たく受け取られることがあります。
集団の中では、自分が担当することを意欲的に片付けます。
共同作業では、自分が主導権を持って、初めから終わりまで引っ張っていくことを好みま

す。

自分に向けられる意見や注意に対しては敵対的な反応を示し、自分を支配する人には憤る傾向があります。

分析型（アナライザー）

問題を解決することが好きで、アイデアや着想を目指します。

行動に移す前に、時間を十分にかけて、状況の分析を徹底的に行います。

事実を自分の助けを求めてくる人がいなくても、平気な顔をしています。

事実を慎重に受け取る態度と結びついた平静さゆえに、他人からよく真面目だとか、学究肌とか、時にはとっつきにくいといった評価を受けます。

集団の中では、規則正しく、綿密で系統だった行動をはっきりと定め、最後まで粘り強く、誠意を持ってやりとげます。

きちんとした法則と手段が決まっていると、一番良い成果を上げることができ、混乱した状態はひどく嫌います。

しばしば、分析や資料の収集に没頭して、行動を起こすタイミングを失ってしまうことがあります。

(1) 自分のタイプを振り返ってみて、何に気づきましたか？

(2) お子さんはあなたにどのように見守られたいと感じていそうですか？

① どんな表情？

② どんなことば？

③ どんなしぐさ？

[診断 Step4]

あなたはご両親からどのように「見守られ」てきましたか？

自分が小学校に上がる前のこと、小学校時代のことを思い出してみてください。お父さん、お母さんのどんな表情を覚えていますか？どんなことを言われてきましたか？楽しかったことはなんですか？

(1) お父さんからの「見守られ方」

(2) お母さんからの「見守られ方」

(3) どんなことに気づきましたか？書き出してみましょう。

[解説]

ここまで取り組んでみて、いかがでしょうか？親としての自分自身について、また、自分を親であらせてくれているわが子について、改めて発見できたり思い出せたりしたことがたくさんあったのではないのでしょうか。

子育ては、「子どもと親のかけ算」だということを覚えておいてください。子が育つ、その様子を親がキャッチする、キャッチしてくれるから子がまた育つ、そんな子どもを受け止められる親であろうと親が成長する・・・こうして親子のかけ算が深まっていきます。

「与える子育て」は、親が自分自身を振り返る必要がないためある意味で楽な子育てです。ただ残念ながら与える子育ては、いつまで経っても足し算のまま、かけ算にはなっていきません。本書をお手に取ってくださったあなたには、「見守る子育て」で親子のかけ算を楽しんでいただきたいと思います。

最後に1つお願いです。本書を読んで子育てに活かせる場所が見つかったり、実際にお子さんの成長変化を感じられることがあれば、ぜひ Amazon のブックレビューなどで教えていただきたいのです。あなたの見守る子育てを、ぜひ私に伝えてほしいのです。楽しみにお待ちしております！

小川大介